

令和元年第2回志摩市議会定例会

請願文書表

受	令和元年 8月23日	紹介議員	小河 光昭
付	第2号	請願者の 住所氏名	志摩市阿児町鵜方3347-2 文岡中学校PTA 志摩市PTA連合会 会長 関戸 透 他3名
件 名	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算 拡充を求める請願書		付 託 委 員 会
<p>〈要旨〉</p> <p>別紙のとおり</p>			

教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める 請願書

提出 令和元年 8月23日

志摩市議会議長 中村 和晃 様

紹介議員 小河光昭

提出者

〒517-0501
志摩市阿児町鶉方3347-2
文岡中学校 PTA
志摩市PTA連合会 会長

関戸



〒517-0209
志摩市磯部町恵利原1300
磯部中学校 校長
志摩市中学校長会 会長

下村 俊



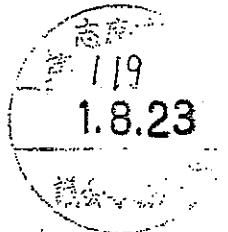
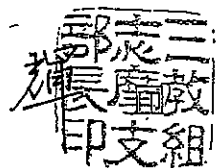
〒517-0505
志摩市阿児町甲賀1518
東海小学校 校長
志摩市小学校長会 会長

坂下 史



〒517-0501
志摩市阿児町鶉方3179
三重県教職員組合志摩支部
支部長

千草 義雄



請願の趣旨

子どもたちの「豊かな学び」の保障にむけ、教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算の拡充をおこなうよう採択いただき、国の関係機関に意見書を提出いただくようお願い申し上げます。

請願の理由

子どもたちの姿を出発点とした主体的で協働的な「豊かな学び」を実現するためには、教職員定数の改善が、最も重要な環境整備のひとつだと考えます。学級編制について国際的に比較すると、日本の1クラス当たりの児童生徒数は、小学校 27 人、中学校 32 人（2018 年 経済協力開発機構（OECD）公表値）、OECD 加盟国 1 クラス当たりの児童生徒数は小学校 21 人、中学校 23 人と大きく上回っています。三重県でも、小学校 25.1 人、中学校 30.2 人（平成 30 年度学校基本調査、単式学級）と、やはり OECD 加盟国平均を大きく上回っています。

志摩市の状況としては、単式学級 1 クラス当たりの児童生徒数は、小学校 23 人、中学校 21 人となっています。しかし、1 クラス 30 人以上の学級が複数あるのが現状です。

教職員が心身ともにゆとりを持って目の前の子どもたちと向き合い、日々の教育活動を創り出していくことは、子どもたちの「豊かな学び」の保障につながる基盤となるものであり、そのためにも、教職員定数改善計画の策定と実施が強く望まれるものです。

一方、日本の教育機関に対する公財政支出は、対 GDP 比約 4.1%で、OECD 加盟国平均（5.0%）に未だに及んでいません。教育基本法により定められている「第 3 期教育振興基本計画（2018）」のなかで政府は、「OECD 諸国など諸外国における公財政支出など教育投資の状況を参考とし、必要な予算を財源措置し、真に必要な教育投資を確保していくことが必要」としています。公財政として措置される教育予算を拡充し、教育条件整備をすすめていくことが、山積する教育課題の解決へとつながり、そしてそれらは、子どもたち一人ひとりの「豊かな学び」を保障することにつながっていくと考えます。

以上のような理由から、教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算の拡充を強く切望するものです。